

令和7年1月定例記者会見要旨

開催日時 令和7年1月23日(木) 午前10時30分 302会議室

(総務部長) 皆さんこんにちは。常日頃より大変ありがとうございます。

ただいまより1月の定例記者会見を開会いたします。市長よろしく申し上げます。

(市長) いつも市政に対しまして、ご協力をいただいておりますありがとうございます。

昨今、温暖化からか、毎日皆さんに報道いただいております御神渡りも、大寒という季節で一番寒い時期でありながら、諏訪湖の状況はまだ波が立っていますが、この御神渡りに対する皆さんの期待というのは大きなものがあるので、私たちも最後まで諦めずに注目していきたいと思っています。一方で、過ごしやすい暖かさではありますが、夏の暑さや災害に対する心配もあるわけですので、そうしたことも鑑みながら、582年という世界最長の自然気象定点観測記録を誇る御神渡りを抱えるこの地域とすれば、そうした意味も込めて注目していただきたいと思っています。

さて、1月定例記者会見ということで、2月の予定等を発表してまいります。

○宝くじ文化公演「オーケストラで聴くジブリ音楽」

おかげさまで大変好評で、用意いたしました販売数 853 枚が完売いたしまして、ありがとうございます。皆様のご協力に感謝いたします。このところ文化センターにも注目を集めていただき、満席完売が続きました。ありがたく思っております。

それでは、お手元に配布させていただきました月間スケジュール表を見ながら、お話を進めたいと思います。

○令和7年度当初予算（案）記者発表・定例記者会見

2月13日（木）午前10時00分 大会議室

○令和7年 諏訪市区長会議

2月14日（金）午後7時00分 大会議室

令和7年 区長会議の構成

令和7年の区長会議では、昨年同様に全区を一堂に会した1日開催とし、内容は、行政からの説明（第一部）、区同士の情報共有を図るための意見交換会（第二部）の二部制により実施する。

参集範囲 区：市内89区 全区長91名

市：理事者、部局長等、事務局

テーマ：①役員の負担軽減（DX）・②担い手不足の解消（女性参画）③近隣区との連携

○諏訪市議会 本会議（3月定例会）

招集日：2月20日（木） ※日程は議会運営委員会にて決定

月間のスケジュールをお示しいたしました。それから配布しました資料の説明を申し上げます。

○特別展 『諏訪史』第一巻刊行100年記念展

開催期間 令和7年2月1日(土)～3月30日(日)

大正13年(1924)12月に信濃教育会諏訪部会(現在の諏訪教育会)が刊行した『諏訪史』第一巻は、諏訪郡の歴史・郷土史書で、縄文時代から古代までの特に考古学を中心とした内容の書籍です。同書は、全国的にも初期の取組であり、内容も非常に高い評価をされています。また、編さんに関わる調査研究などをきっかけに、多くの考古学や郷土史を研究する者を輩出し、地域住民らの関心を集め、さまざまな影響を与えました。

諏訪市博物館では、調査や刊行に関わった研究者の資料、掲載されている土器や石器、写真の原板を所有していることから、それらの資料を展示し、100年前の大事業を振り返り、再び注目を集めたいと考え、特別展を開催します。

なお、『諏訪史』第一巻刊行100年を記念し、諏訪教育会及び諏訪郡内の各市町村博物館でも同時期に展示を行う予定であり、展示内容や広報周知について一部で連携を行います。(諏訪教育博物館・市立岡谷美術考古館・茅野市尖石縄文考古館・星ヶ塔ミュージアム矢の根や・井戸尻考古館・八ヶ岳美術館・当館の7施設)

本展に先立ち、館蔵資料の調査やデータ化を博物館とともに一緒に行う「諏訪史関連調査協力者」を昨年6月に募集し、市内外から約20名の参加者を得て、12月まで取り組みました。市民参加の取組の成果発表の場としても周知したいと考えています。

イベント

- ・講演会 3月1日(土)13:30～16:00 申込必要・入館料必要
- ・西山地域の遺跡歩き 3月23日(日)13:00～15:00 申込必要・参加無料
- ・展示解説 2月2日(日)・22日(土)・3月16日(日) 13:30～14:00 申込不要

○チョイソコかりんちゃん 専用のプリペイドカードの自動販売機について

チョイソコかりんちゃん専用のプリペイドカードを11月1日(金)から販売しています。

販売価格 2,000円(2,500円分利用可能額)

販売場所 諏訪市役所1階(自動販売機)、駅前交流テラスすわっチャオ(自動販売機)、
チョイソコかりんちゃん車内

利用方法 チョイソコかりんちゃん車内で決済時に、専用機械にQRコードをかざしてください。カードは使いきりです。残高がなくなった場合は、新しいカードを購入してください。プリペイドカードをお買い求めいただくと現金払いより

500 円分お得に利用できます！

私の方からの説明は以上でございます。ありがとうございます。

（総務部長）こちらからの説明は以上となります。ここからは、記者クラブさんの方にマイクを移したいと思います。当番幹事社さんお願いします。

（記者）予算について、議会での新年度予算の目玉というのはここでは発表はできないと思いますが、それ以外の条例の提出など 3 月議会で何か予定されていることがございますか。

（市長）今、議案に対しまして審査をしている最中ですので、予算発表の時に、あわせて申し上げたいと思います。全体的には、今まで準備を積み重ねてきた、あるいは仕込みを積み重ねてきたような、諏訪市の未来に向かって展開するコンパクトシティ、その一つ一つを具体化する事業であったり、大きな事業も目に見えて動き出すというような年になろうかと思っていますし、私の 3 期目折り返しというタイミングや、今の第六次総合計画の 4 年目ということで、しっかりと事業を進めていくというような印象を持っていただける予算になっていくことを意図して編成をしております。

（記者）諏訪湖イベントひろばの土壌調査を今年度やっていると思いますが、鉛が出たり、ある程度の問題点というのは明らかにされていますが、それを踏まえて汚染の対策工事といったものが生じてきているのかどうか、その辺の見通しはどうなっていますか。

（市長）それにつきましても、およその結果につきましては手元にまいりましたので、それに対してどのように対応していくかということにつきましても、自然由来のものと、そうでないものと、あるいはこれからどのような工作をその場でやるのか等色々な観点がありますので、もう少し整理した上でお示しできるときに発表してまいりたいと思っています。

（記者）何か想定以上に巨額な予算が出てきそうだった感じはありますか。

（市長）いずれにしても法等に則って対応していきますが、今現状では急に莫大な費用がかかるというような印象はありません。

（記者）昨日長野駅前で、殺傷事件がありまして、諏訪市では何か集団下校をするとか、何か対策は取られているのか、行う予定であるのか、お答えください。

（市長）昨日の夜のニュースで事件を知りまして、今朝の新聞で、一人お亡くなりになっているという報道を拝見しました。通り魔的な事件で、被害に遭われた方にはご冥福をお祈り申し上げますとともに、お見舞いを申し上げます。先日も全国のニュースで、ハンバーガーショップ等で本当に無差別と思えるような事件が起こっておりまして、世の中が少し不安定な、荒れてきたような印象を受けます。そうした事件、事故に巻き込まれないように、十分に我々としても注意する必要があるかと思っています。教育委員会には、通知をいたしましたので、集団下校するといったことにつきましては、教育委員会でどのようにされるかを今検討している最中かと思っています。まだ報告は受けておりませんが、気をつけてくださいということは伝えてあります。

(記者) 新年度予算ですが、予算の規模としては最高になりそうでしょうか。

(市長) 最高になりそうな感じがいたします。物価スライドのこともありますし人件費の高騰もありまして、押しなべて全体的に、そうした傾向だと思imasるので、諏訪市も多分に漏れず、その傾向にあると捉えていただいて構いません。

(記者) 文化センターの大型事業を控えているということで、最高規模の見通しである等の何か、もし具体的な背景があればお答え願います。

(市長) それも含めて、財政のコントロールについては、急激なインパクトというようなものを工夫しながらコントロールしておりますので、その一点張りということではなく、色々な事業を遂行するために必要な財源を確保しつつ、事業が目に見えて進められているという、市民に対しても期待感を持っていただけるような工夫をして編成いたしました。まだ最終的に詰め段階ですので、発表まで確定はしませんが、そうした予算になっているということになります。

(記者) 今弊社で、諏訪市の中学校に、物価高騰に関して給食への影響が出ているのか取材しておりまして、その中で昨日教育委員会の方に問い合わせしましたところ、今 3 年続けて、市の給食費が上がっているということだったのですが、まず背景というか、理由についてお話していただいてもよろしいですか。

(市長) ご承知のとおり、物価が高騰しております。ですから食材費、主食、それから牛乳、副食など、食料品の価格が上がっているということ。小学校や中学校では、やはり健康や成長に対して必要なカロリーを取っていただかなくてはいけないということで、PTAの会長さん、副会長さん、学校長の皆さんや関係の皆さん等にお集まりいただいた会議の中で、その食材に関わる費用を上げるということについてはご了解をいただきまして、7 年度も小学校で 15 円上げて 1 食当たり 325 円、中学校も 15 円上がって 1 食当たり 375 円、これをお認めいただきました。一方で、保護者の皆さんの費用負担については、世間の物価高騰に対する生活費の圧迫とかそうした状況を加味して、検討いただきたいというリクエストをいただいておりますので、現在当初予算編成の中で、それを加味して検討している最中です。補助はしていかなければいけないのではないかという思いの中で検討中です。

(記者) 今のお話で、来年度から 15 円値上げということですが、保護者の負担に関しても今検討中ということですか。実際これまで 3 年間は、保護者の価格は据え置きで、公費の負担をずっと増やしてきたと思いますが、その公費負担を増やしてきたことについて市としてどういうふうに受け止めていらっしゃるんですか。

(市長) 生活に関わるガソリンであったり、電気代であったり、世の中の様々な物価が高騰している中で、物価の上昇を上回る賃金のスライドを、というメッセージはかなり浸透しているのですが、大企業の集まる都会と違ってこの地域は地方になります。それが実現できているかというと、中小企業も多く、まだ道半ばというところであろうと見ております。そういう中で、経過措置としては、行政の支援というのは必要という判断のもと、ここ 2 年補助をしてまいりました。現状においても、まだ家計においては厳しい状況があることを見続け

ておりますので、それを加味して令和7年度も検討中ということになります。

(記者)令和7年度から、保護者の負担も少し増やさなくてはいけないというところですか。

(市長)予算が確定してからでないと発表できませんので、2月の予算発表の時に、結果をお知らせできると思います。

(記者)市長のお考えをお伺いしたいですが、諏訪市の中学校を取材した時に、実際の現場を見ていると、食材費が高くなってきているから、例えば、サケの切り身を丸々一つ出すより、少しサイズを小さくして他の具材と一緒にして出しているとか、少し食材を減らすとかいう現状もあるとお話しされて、学校給食というものは市長の中では、どういうふうに捉えているか、どういう位置付けで考えているかお話を聞いてよろしいですか。

(市長)成長期の子供たちの給食を提供するので、食材の値段が上がっているのを量を減らしたり、質を落としたりということは、望ましいことではありません。従って今回も食材費は値上げをするということで、ご同意をいただきました。諏訪市においては公立の小中学校はすべて自校給食です。給食室で調理したものを出しています。食材の調達についても、栄養士の皆さんや給食に携わってくださっている皆さん、現場の皆さんは大変工夫をいただいています。例えば、野菜であっても、栄養価が同等であれば、値段の安いものに変えるとか、お肉の部位や、魚についても種類によって値段が違いますから、カロリーや栄養を考え、工夫していただいています。そのご努力に感謝しております。それでも追いつかない物価の高騰について、今回1食当たり15円ずつ値上げをさせていただくということになりました。

(記者)先日、諏訪市議会の方でハラスメントの調査結果が公表されましたが、議員のハラスメント対策ということで、市の職員のハラスメント対策というのは今どのようなになっているでしょうか。

(市長)当市は職員に対しまして、研修を定期的に行っております。その中でハラスメントやアンガーマネジメント等、講師の先生にメニューを作っていただいて、定期的に研修を行っております。議員のアンケートに、市の職員も協力させていただいたということでありますので、議会の取組については、敬意をもって見守らせていただきました。

(記者)職員の中でも、議員の方からハラスメントを受けたという方がいらっしゃったのですが、職員の相談窓口が今あるのですが、全般的な心の問題とか休職の方とかも含めた相談になっているので、ハラスメント専門のようなところがないのではないかなというような話があったのですが、その相談窓口というのはどういう体制になっていますか。

(総務部長)今回の議員のハラスメントということについてですが、そもそも市の方ではハラスメントに対する一つの要綱を作ってそれに基づいて、これは職員間であっても議員であっても、外部のいわゆるカスハラであっても、何かあったときには、総務課が窓口となって、相談を受けるということをしていました。職員サポート室ができてからは、その役割を職員サポート室が担い、様々なハラスメント以外の課題に対しても相談を受けているところです。これが例えば、深刻なものについては、苦情処理委員会という組織がありまして、

そこで検討した上で、聞き取り等を含めて、そのハラスメントの事実関係を調査しているというのが職員の方ではできているのですが、今回あった内容というのは議会の議員の取組です。それについては、私も議会側にもお話させていただきましたが、議員側として議会側として、これからそういう相談がこちらの部局側にあったときに、部局側が例えば心身のメンタルのサポートはしているわけですが、議会は別の機関になるので、そこがないので、解決のためのサポート体制についてしっかり精査して欲しいという依頼はしております。

(記者)議会の方で、議会のハラスメント防止条例というのを、検討するというような話もあったのですが、その時はもう議会は議会だというイメージで、相談窓口や対応というのは、議会の方でということで、連携というのはしないのですか。

(総務部長)議会の方で条例を作るということについては、初めてお伺いしますが、もうすでに市長部局では条例でなくても、要綱という一つの例規を作成して、それに基づいて対応している状態ですので、これから議会の方で、職員側が何か議員さんからハラスメントを受けたときにどう対応するかというのは、条例がいいのか運用がいいのかということを含めて考えていただくということになります。

(市長)少しフォローしますと、議会で条例を検討されるということは少し耳にしているだけで、具体的な条例の内容については全く承知しておりません。その条例に対して対象者を議会議員とするのか、市民を対象にするのか、どの範囲を対象にするのかということも関わってくる問題だと思います。これは議会がどのようにされるかということを議会の方に取材をしていただければと存じます。

(記者)今回のハラスメント調査に対する市長の受けとめと、今回その実施、公表にまで至った市議会の市政に対する評価というのをお聞きしたいです。

(市長)ハラスメントというのはいろんなハラスメントがありますが、やはり世の中において、相手を思いやり心地よい社会をつくるために、これから注目、注視して、それぞれも注意しなければならないルールになっていくだろうと思っておりますので、それに対して議会が真剣に取り組んでおられるということについては敬意をもって、拝見させていただきました。市長部局としては、被害を受けていると申し出られる方の受け皿を、職員サポート室で用意しておりますとともに、ハラスメントをしない自己のコントロール研修を定期的に用意して取り組んでいるところであります。議会におかれましても、今後の取組の参考にするためにということで、近くにいる市の職員を、アンケートの対象にされたのだということと理解しております。いずれにいたしましてもこうした取組を通じて、お互いに心地よく、尊重しあえるようなコミュニケーションのとれる世の中ができていくように一緒に取り組まさせていただきます、またそうなることを期待したいと思っています。

(総務部長)それでは以上をもちまして 1 月の定例記者会見を終了します。どうもありがとうございました。